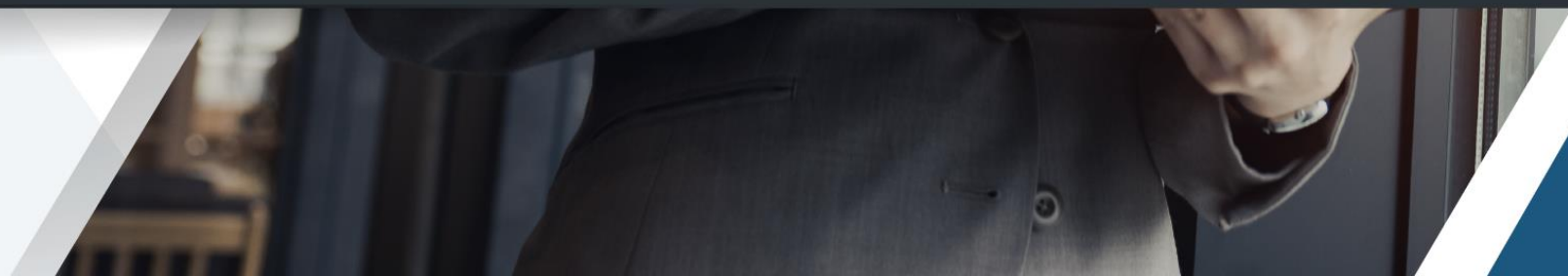
TECHVAN

Microsoft 365

「パスワード付きZIPファイルの添付」は何がいけない？

メールセキュリティを強化し、安全なファイル送信を実現する Active! gate SS



はじめに

情報技術の進化により、企業がDX（デジタルトランスフォーメーション）を進める一方で、情報セキュリティ対策がますます重要性を増しています。2021年10月末には徳島県のつるぎ町立半田病院がランサムウェア攻撃を受け、約8万5000人分の電子カルテが閲覧できなくなりました。通常診療が再開できたのは約3か月後の2022年1月。これはメールを経由したサイバー攻撃の重大事件として報道されましたが、同様の被害は後を絶ちません。本資料ではメールが不正侵入やマルウェアなどへの感染経路として大きなリスクとなっている今、組織がいち早く取り組むべきメールセキュリティ対策について解説します。

CONTENS

中央省庁で禁止された「メール+暗号化ZIP」

PPAPの危険性は、セキュリティの専門家も警告

従来、外部の組織同士でファイルをメールでやり取りする際にPPAPと呼ばれる方式で行われることが一般的でした。PPAPとは下図の頭文字を取った言葉で、パスワード付きZIPファイルとパスワード用のメールを別々に送信してセキュリティを強化する対策です。これまで多くの企業や公的機関で定着しました。
ところが近年では、セキュリティリスクがあるとして、PPAPの利用を禁止する企業が増えています。政府も2020年、中央省庁での利用の全面廃止を発表。セキュリティの専門家の間では、以前からPPAPの危険性が指摘されており、政府の対応で再び注目を集めることになりました。

P：パスワード（Password）付きZIPファイルをメールで送信
P：パスワード（Password）を別のメールで送信
A：暗号化
P：プロトコル（Protocol）

Active! gate SS が実現する７つのメールセキュリティ対策①

情報漏えいは悪意のあるスパムメールやフィッシング詐欺によって引き起こされることもありますが、その多くは「ミス」が原因です。誤送信などのヒューマンエラーやセキュリティ対策が不十分なメールシステムがほとんどなのです。そのため、あらゆる組織が急ぎ対策しなければならない重要な問題となっています。
この課題を素早く解消することができる Active! gate SS（アクティブゲート・エスエス）は7つの誤送信防止機能を持つクラウド型のメール誤送信防止サービス。メールソフトやサーバーに依存しないため、企業のメールセキュリティを飛躍的に向上させることが可能です。

送信メールの一時保留

指定された条件に基づいて、送信するメールを一定時間分遅延させて保留し、誤送信を防止

添付ファイルのwebダウンロード

添付ファイルをパスワードで保護し、メール本文とは別にダウンロードする仕組みにより、盗聴を防止

上司承認

上司に承認を得るまでは、メール送信がされず、機密情報流出や誤送信対策になる